

平成 26 年度 市政世論調査

報告書 概要版

この報告書概要版は、平成 26 年 6 月 21 日～7 月 18 日にかけて実施した
「平成 26 年度市政世論調査」の主な結果をまとめたものです。

< 目次 >

I. 調査の概要.....	1
II. 調査回答者の属性.....	2
III. 調査結果.....	4
1. 暮らしや居住意向について.....	4
2. 自治基本条例関係について.....	5
3. 人権全般に関する意識について.....	6
4. 男女共同参画について.....	7
5. 中核市移行について.....	8
6. 生物多様性について.....	8
7. こしがやブランド認定制度について.....	9
8. 農業体験やレジャー施設について.....	10
9. 市内のバス路線について.....	11
10. 越谷市の景観（風景）について.....	12
11. 生涯学習活動について.....	13
12. スポーツ・レクリエーションの実施状況について.....	14
13. 火災警報器の設置状況について.....	15
14. 広報について.....	16
15. 越谷市の施策について.....	17

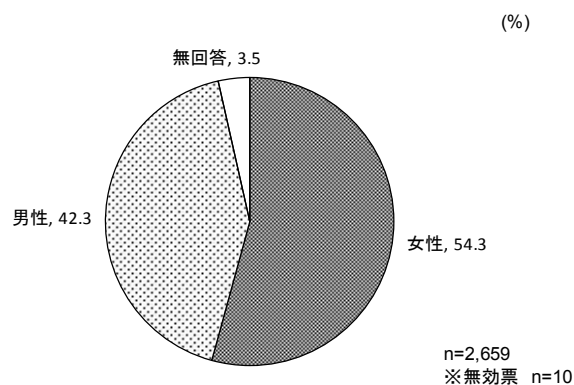
I. 調査の概要

- ◆ 調査地域 : 越谷市全域
- ◆ 調査対象 : 市内在住の 18 歳以上の男女 5,000 人
- ◆ 抽出方法 : 住民基本台帳より無作為抽出
- ◆ 調査方法 : 郵送法（郵送配布・郵送回収）
- ◆ 調査期間 : 平成 26 年 6 月 21 日～平成 26 年 7 月 18 日
- ◆ 回収結果 : 回収率 53.38%

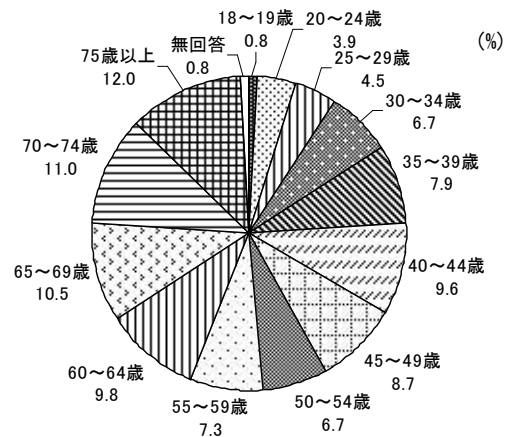
II. 調査回答者の属性

回答者の属性は以下の通りである。

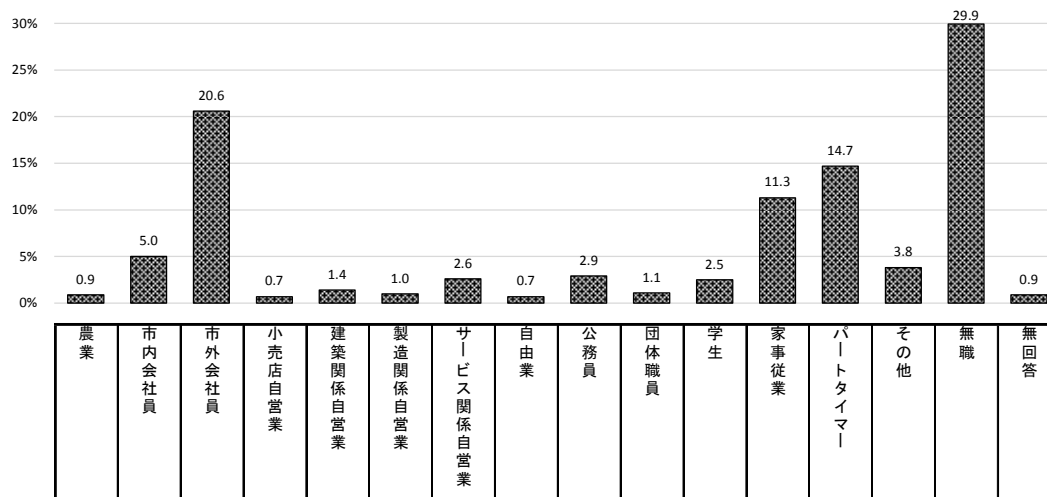
◆性別 (n=2, 669)



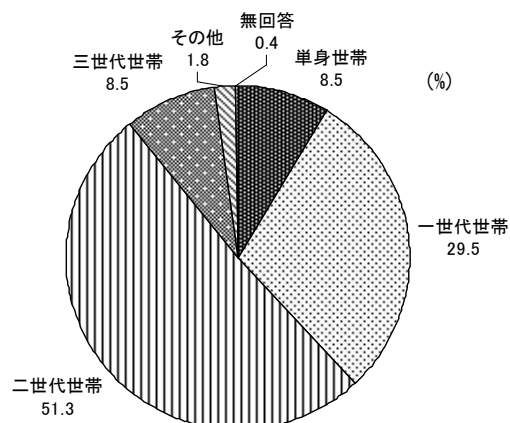
◆年代 (n=2, 669)



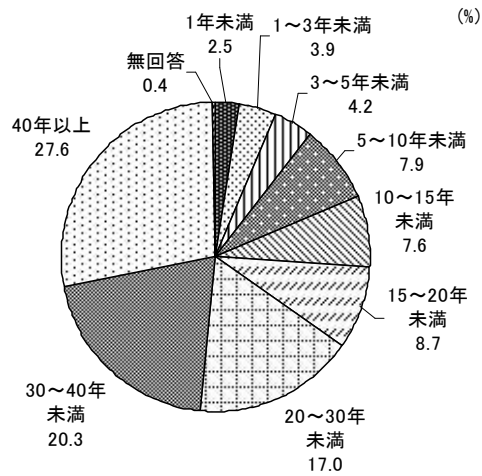
◆職業 (n=2, 662)



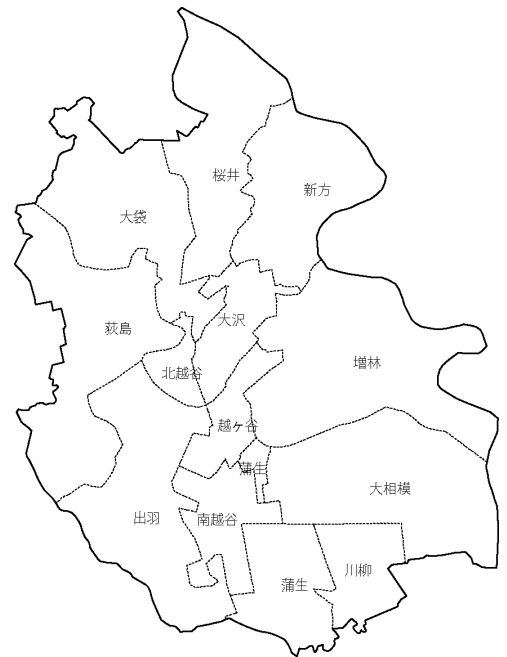
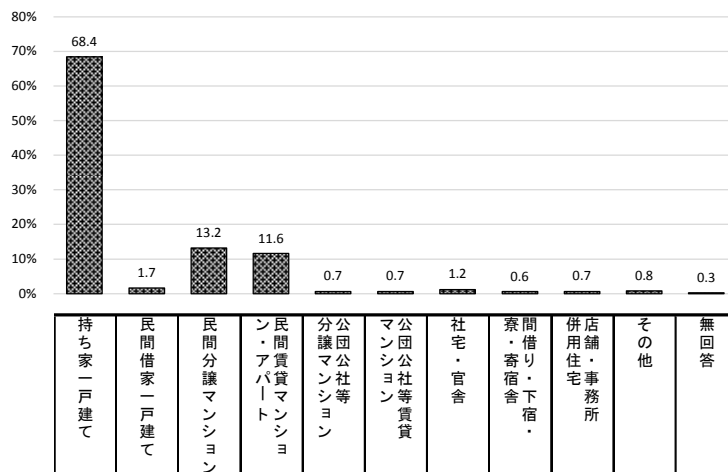
◆世帯の状況 (n=2, 669)



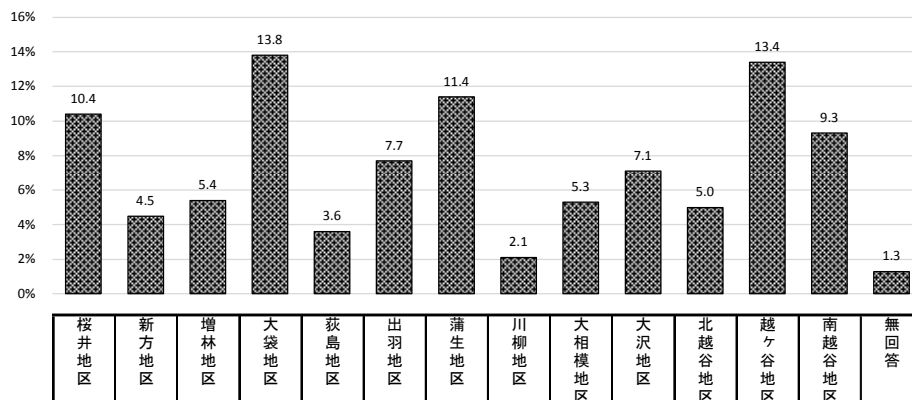
◆居住年数 (n=2, 669)



◆居住形態 (n=2, 669)



◆居住地区 (n=2, 669)



III. 調査結果

1. 暮らしや居住意向について

- 現在の暮らし向きについて「十分とはいえないが、一応満足している」人は約4割。
- 定住意向（「ずっと住み続けたい」あるいは「どちらかといえば住み続けたい」）は7割強。
- 転居意向の主な理由は、「現在、住んでいる住宅が狭いので」「付近の生活環境が悪いので」「賃貸住宅に住んでおり、持ち家がほしいため」「交通の便が悪いので」となっている。

図 1-1 現在の暮らし向き (n=2,669)

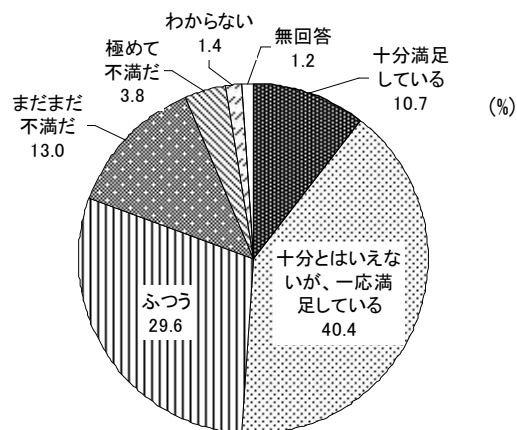


図 1-2 居住意向 (n=2,669)

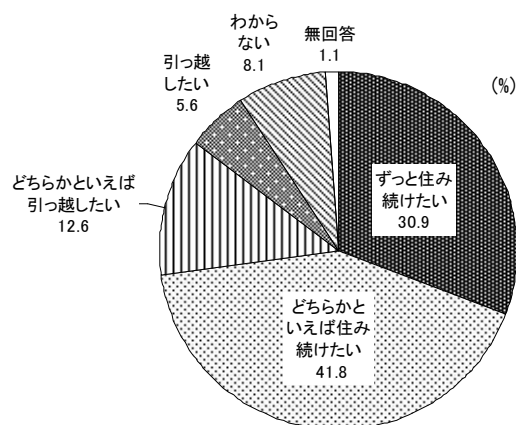
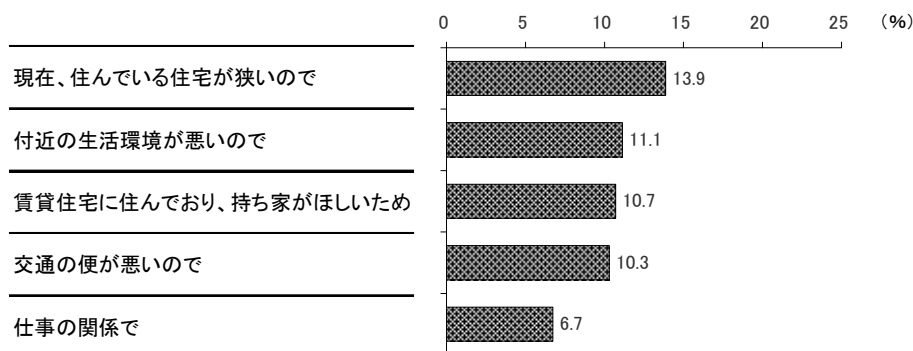


図 1-3 転居意向の理由 (上位 5 位) (n=476)



2. 自治基本条例関係について

- 越谷市自治基本条例を「知っている」人は約1割、「知らない」人が6割半ばとなっている。
- 参加と協働のまちづくり推進を「知っている」人は約1割となっている。
- 参加と協働のまちづくりの進展に関しては、1割半ばの人が「進展している」と考えている。
- 市政への「関心がある」は約5割となっている。

図 2-1 「越谷市自治基本条例」の認知 (n=2,669)

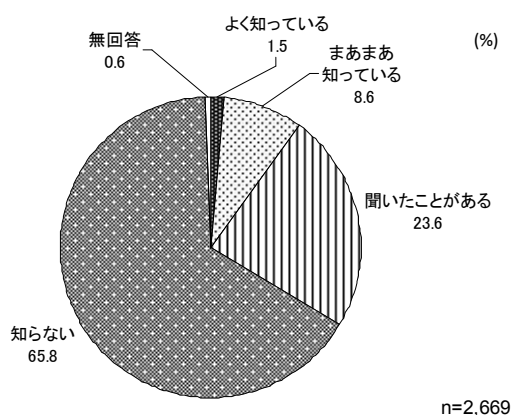


図 2-2 参加と協働のまちづくりの認知 (n=2,669)

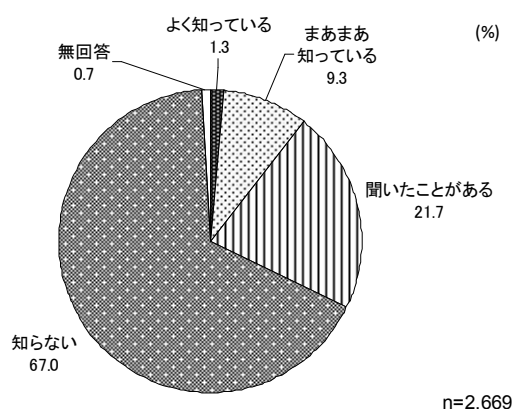


図 2-3 参加と協働のまちづくりの進展 (n=2,669)

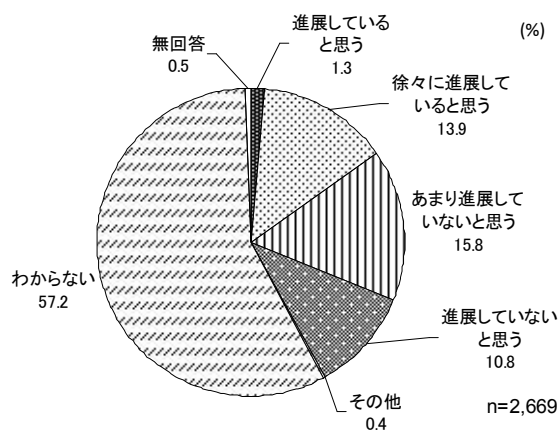
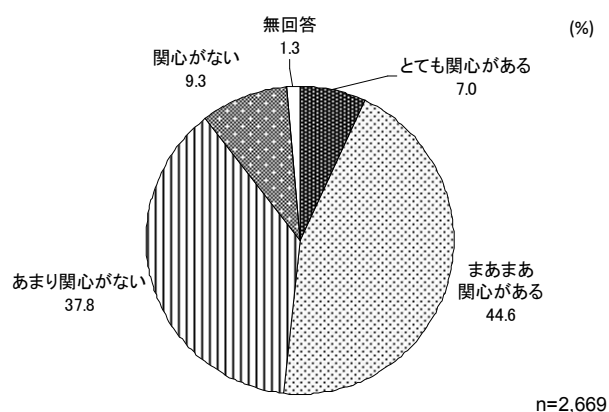


図 2-4 市政への関心 (n=2,669)



3. 人権全般に関する意識について

- 人権意識の変化は約4割が「高くなっている」と回答しており、また、人権問題の関心内容は高齢者や女性に関するものが4割以上となっている。
- 人権が侵害された（周りの人も含む）と感じた経験については、約2割が感じており、その内容は「噂や悪口、陰口」、「職場待遇」が4割半ばを占めている。

図 3-1 人権意識の変化 (n=2,669)

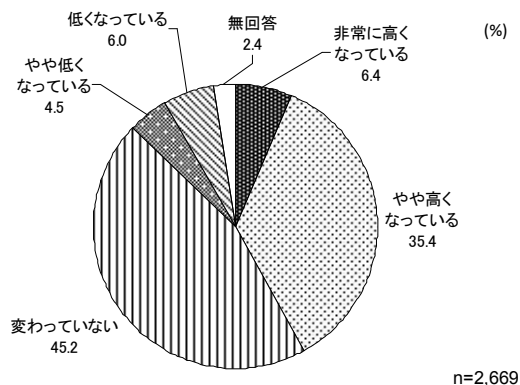


図 3-2 人権問題への関心 (上位 5 位) (n=2,669)

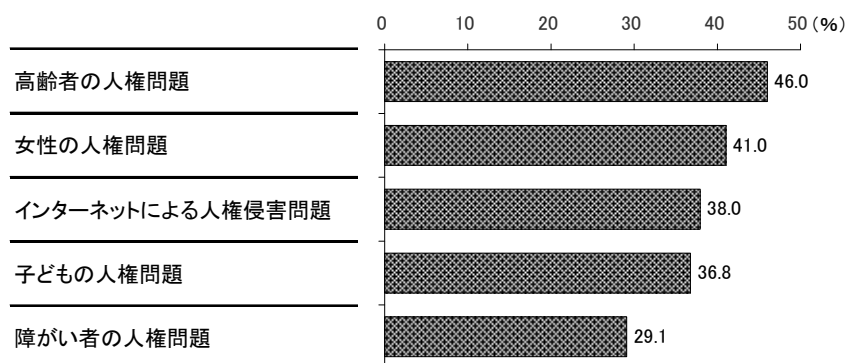
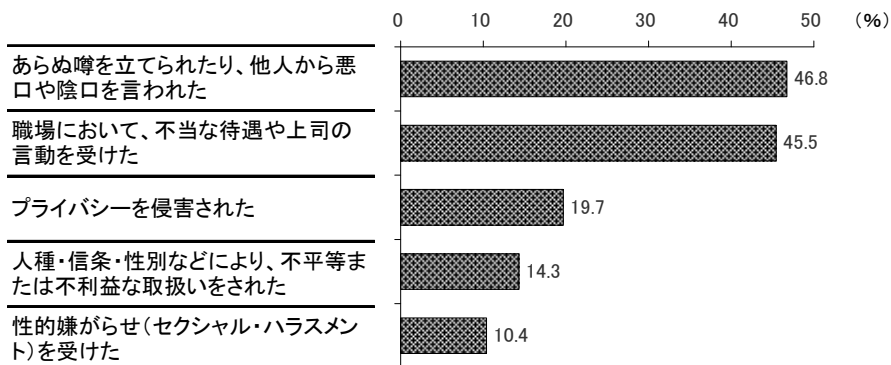


図 3-3 人権が侵害されたと感じた内容 (上位 5 位) (n=539)



4. 男女共同参画について

- 希望する時間配分の可否については6割弱が使えていると感じている。
- ドメスティックバイオレンス「身体に対する暴力を受けた」とする回答は1割強、恐怖を感じる脅迫については約1割が「ある」と回答している。
- 相談できなかった、相談しようと思わなかった理由は「相談するほどのことではないと思ったから」と5割半ばが回答している。

図 4-1 自分が希望する時間配分を使えているか (n=2, 668)
(%)

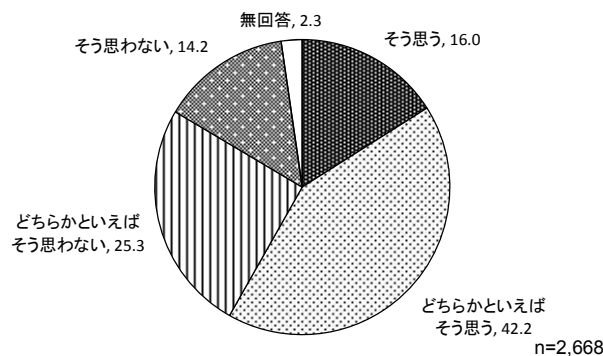


図 4-2 ドメスティック・バイオレンス
—身体に対する暴力を受けた— (n=2, 669)
(%)

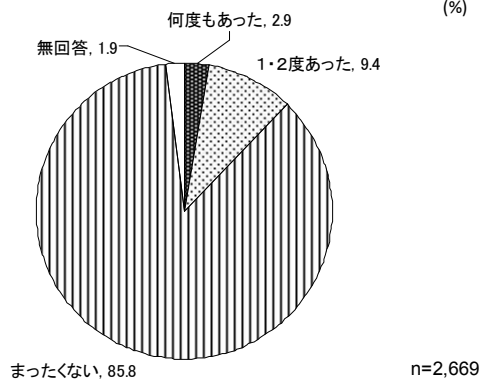


図 4-3 ドメスティック・バイオレンス
—恐怖を感じる脅迫を受けた— (n=2, 669)
(%)

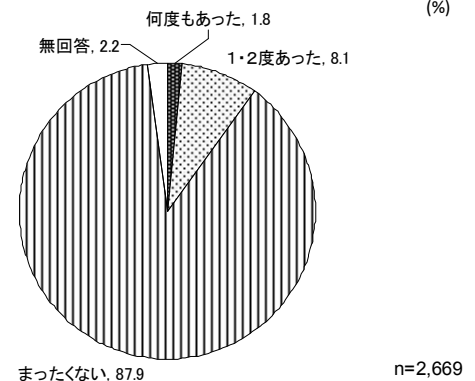
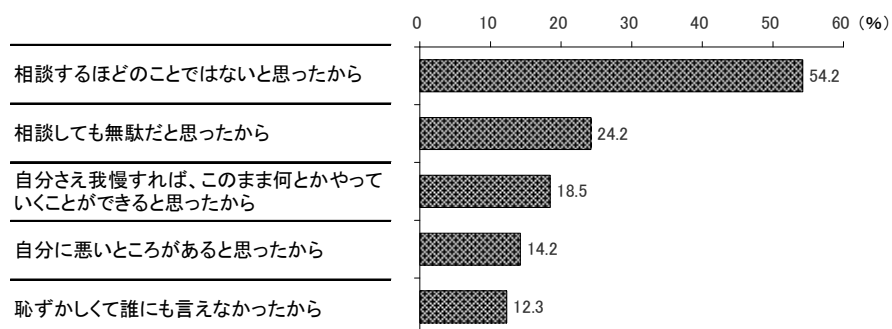


図 4-4 相談できなかった・相談しようと思わなかった理由 (上位 5 位) (n=260)



5. 中核市移行について

- 中核市制度の認知度は「知っている」人が2割強で、「知らない」人が約4割。
- 越谷市が平成27年4月に中核市移行を目指していることは、「よく知っている」「まあまあ知っている」で2割半ばの人が知っているが、一方、約5割が知らないと回答している。

図 5-1 「中核市制度」の認知 (n=2,669)

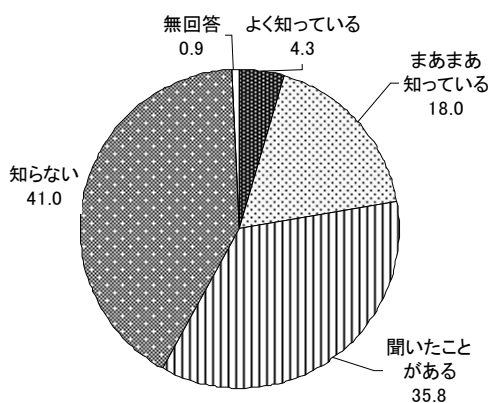
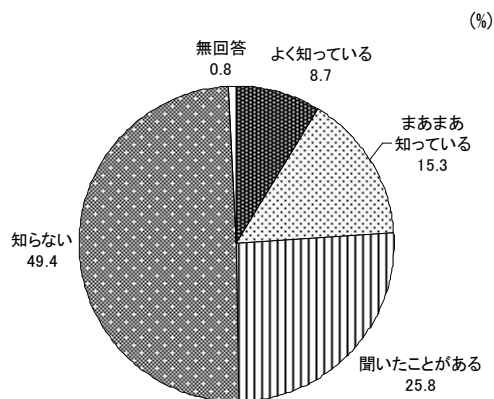


図 5-2 中核市移行の認知 (n=2,669)



6. 生物多様性について

- 生物多様性の認知については、「言葉の意味を知っている」が2割強、「聞いたことがない」が約4割となっている。越谷の自然や生き物に、「大変関心がある」のは1割半ばである。
- 自然や生き物の保全活動は「賛成する」が約8割、希少動物の保護活動については、「積極的に進めるべき」と約4割が回答している。

図 6-1 生物多様性の認知 (n=2,669)

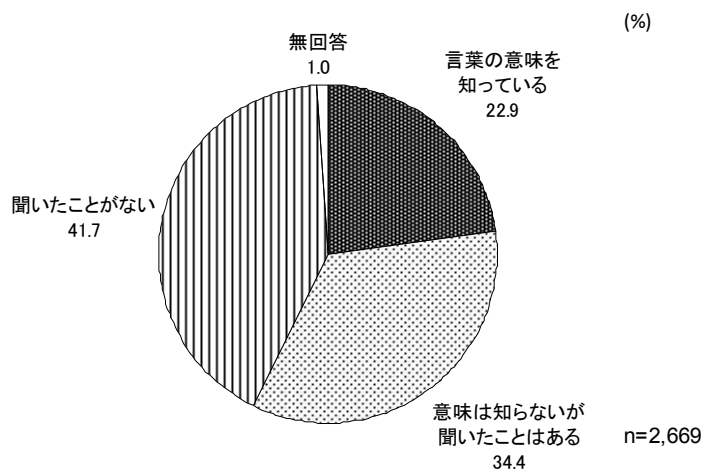


図 6-2 自然や生き物への関心 (n=2,668)

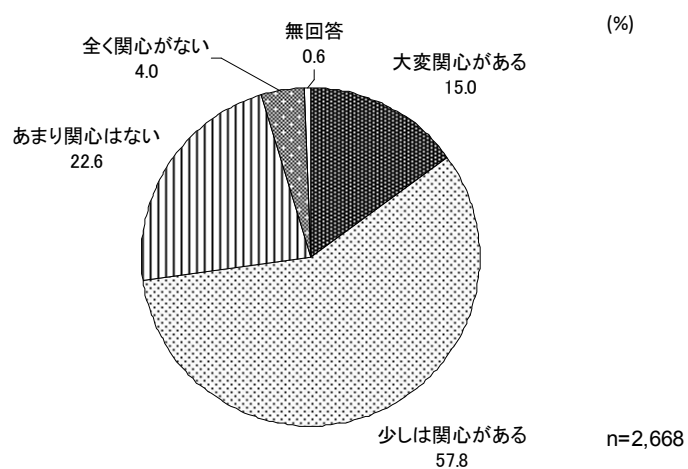


図 6-3 自然や生き物の保全活動への賛成・協力の意向 (n=2, 668)

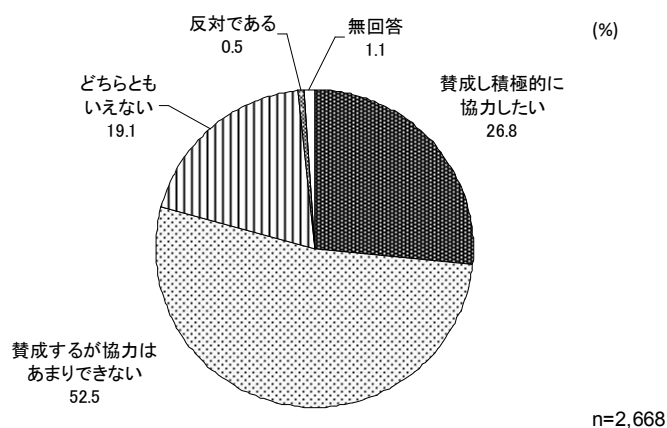
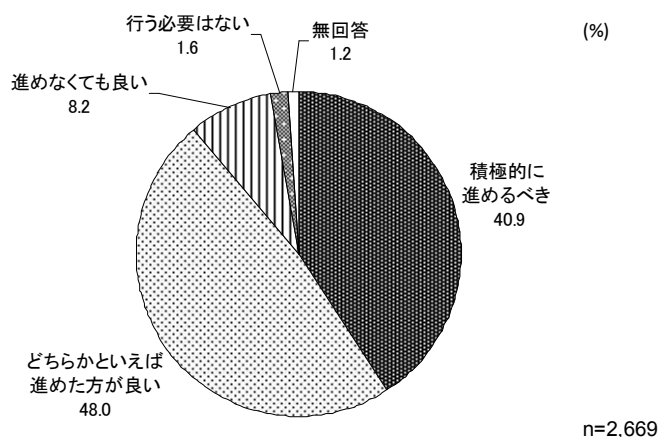


図 6-4 希少動物の保護活動 (n=2, 669)



7. こしがやブランド認定制度について

- 認定品について「知っている」人は5割強である。
- こしがやブランド認定品の購入経験は「ない」人が6割強である。
- こしがやブランド認定制度には「越谷市のPR」を期待する人が多くなっている。

図 7-1 こしがやブランド認定品の認知 (n=2, 658)

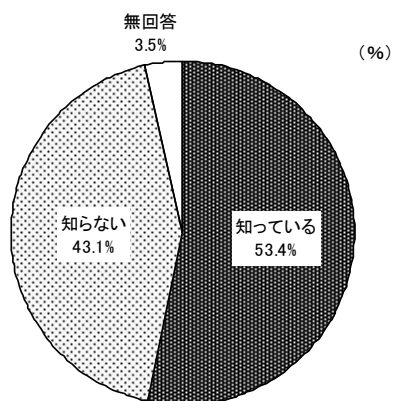


図 7-2 こしがやブランド認定品の購入経験 (n=2, 653)

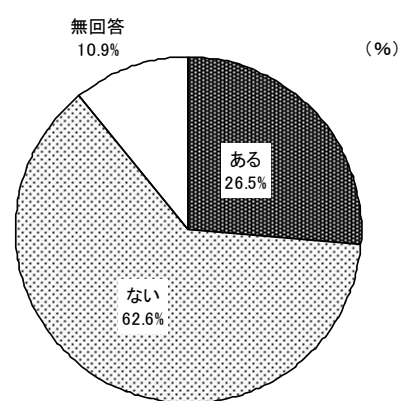
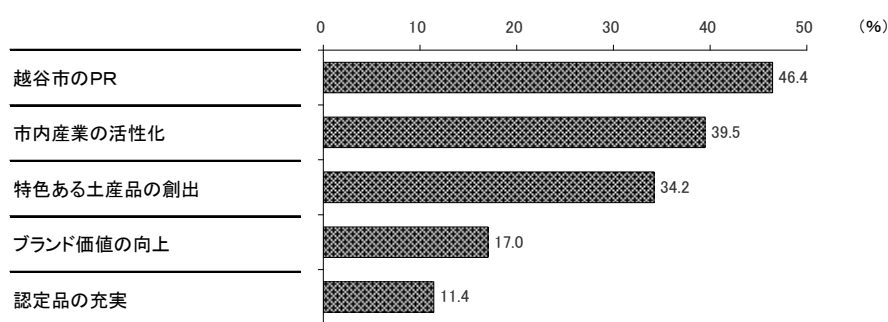


図 7-3 こしがやブランド認定制度への期待 (上位 5 位) (n=2, 669)



8. 農業体験やレジャー施設について

- 果物狩りやレジャー施設等の認知媒体は「インターネット」、「広報紙」が多い。
- 果物狩り農園を教えたいと思うかについては、「教えたいと思う」が4割半ばとなっている。
- あった方が良くと思う体験は、「収穫」が全種類（稲、野菜、果物、花）でトップ。

図 8-1 果実狩りやレジャー施設等の認知媒体（上位 5 位）

(n=2, 667)

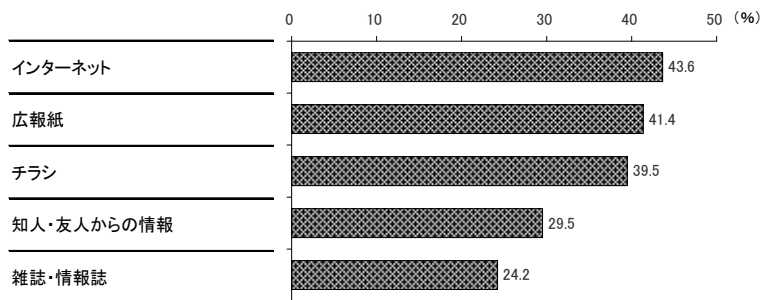
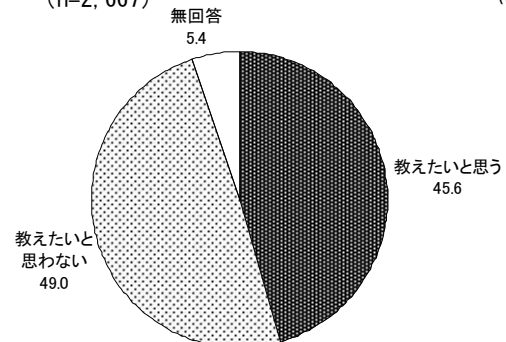


図 8-2 果物狩り農園を教えたいと思うか

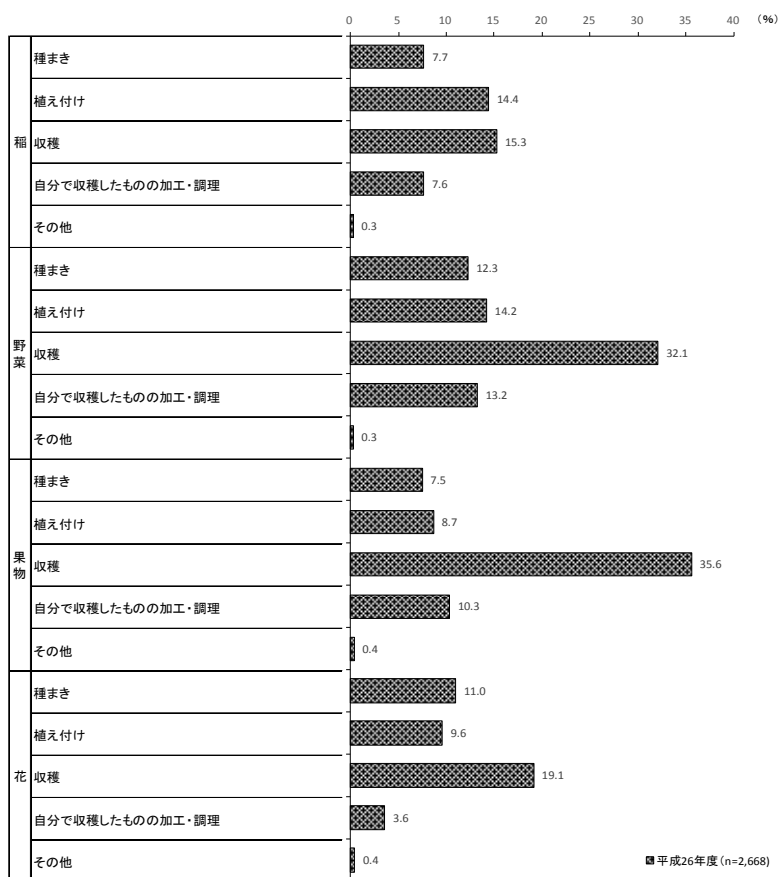
(n=2, 667)

(%)



n=2,667

図 8-3 あったらよいと思う摘み取り体験、農業体験 (n=2, 668)



9. 市内のバス路線について

- 身近にバス停があるか知っているかについては、大半が「知っている」と回答している。
- バスに望むこととしては、バス路線網の充実が約3割、今後増やしたい移動手段としては、自転車が4割半ばとなっている。

図 9-1 バス停やバス路線の認知 (n=2,669) (%)

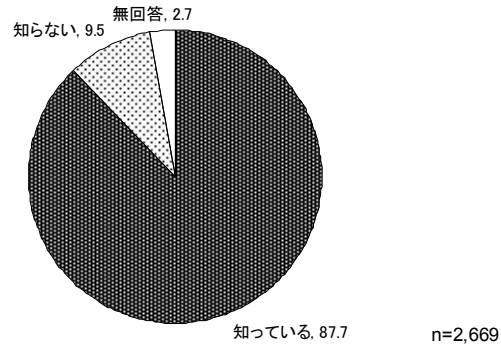


図 9-2 路線バスに望むこと (上位 5 位) (n=2,668)

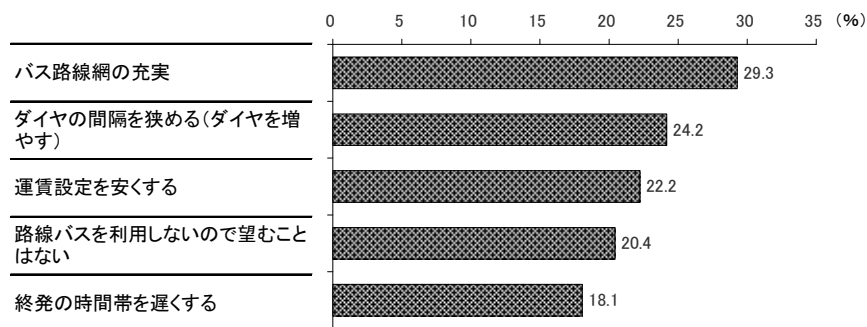
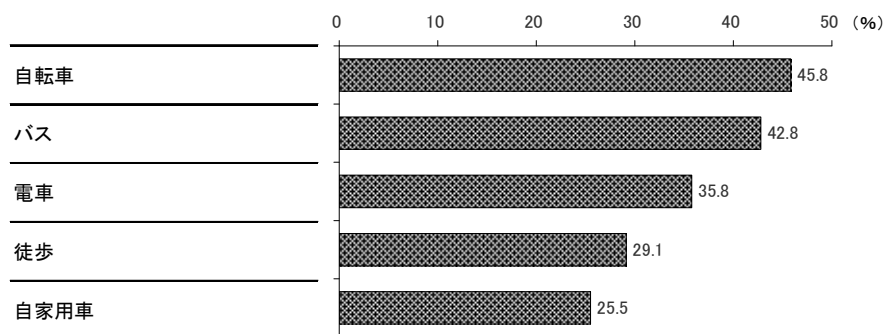


図 9-3 今後増やしたい移動手段 (上位 5 位) (n=2,667)



10. 越谷市の景観（風景）について

- 住まいの地区の景観（風景）について、「考えることがある」人は6割半ばとなっており、満足度は、「十分とはいえないが、一応満足している」人が多い。
- 良い景観（風景）のまちをつくるため行政に望むものは、「目標や基本方針を住民に示す」が多くなっている。

図 10-1 景観（風景）の考察（n=2,669）

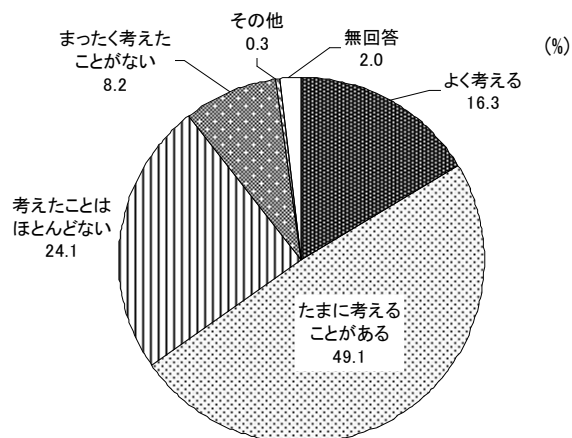


図 10-2 景観（風景）の満足度（n=2,668）

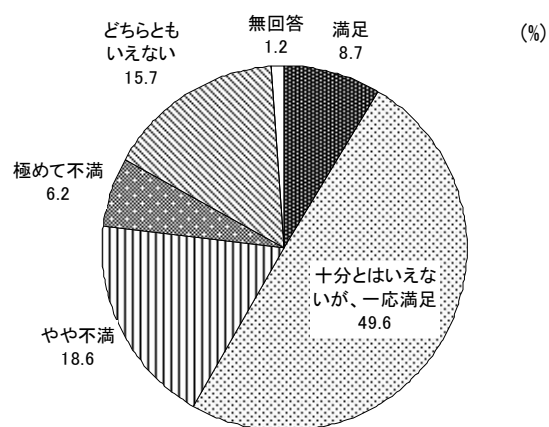
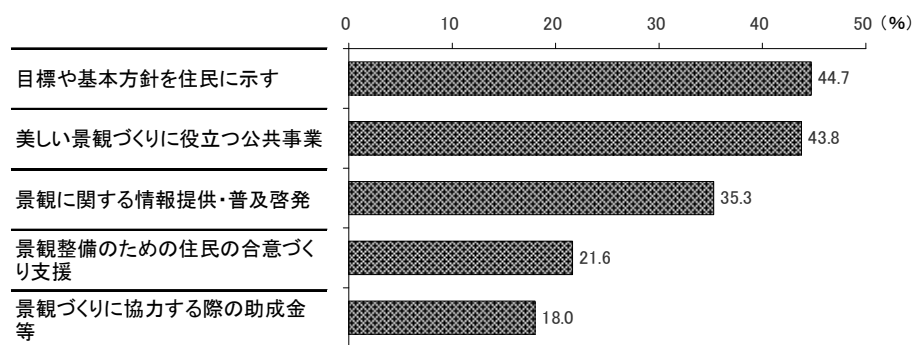


図 10-3 行政に望むこと（上位 5 位）（n=2,652）



11. 生涯学習活動について

- 生涯学習活動の活動有無については、「行っている、行っていた」で約4割となっている。
- 希望する講座、教室については、「健康・スポーツ」に関するものが多く約5割となっている。
- 参加しやすい生涯学習活動の場所・時間・方法については、「地区センター・公民館の講座」が6割弱となっている。

図 11-1 生涯学習活動の活動の有無 (n=2,662)

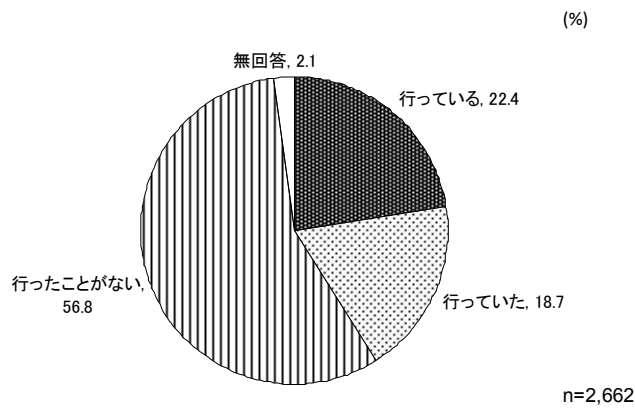


図 11-2 生涯学習活動の希望講座、教室 (上位 5 位) (n=2,669)

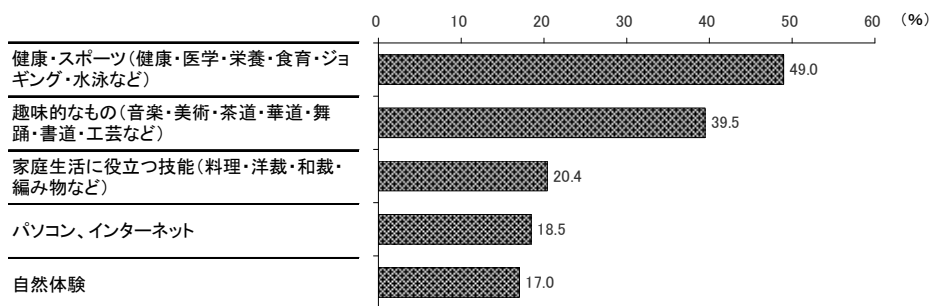
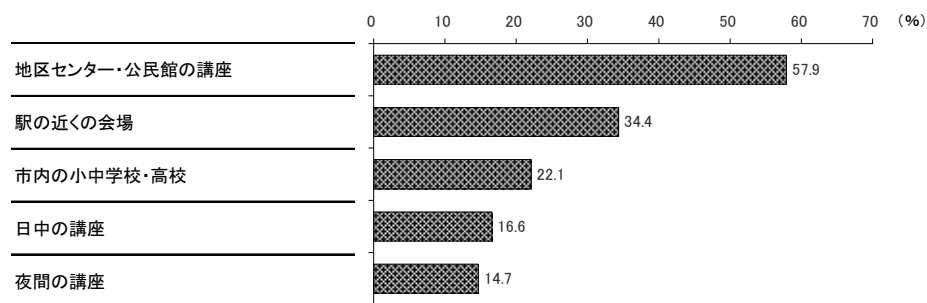


図 11-3 参加しやすい生涯学習活動場所・時間・方法 (上位 5 位) (n=2,669)



12. スポーツ・レクリエーションの実施状況について

- スポーツ・レクリエーション活動の実施状況については、「週 1 回以上」が約 4 割となっている。
- 行った理由については「運動不足解消」が 6 割半ばとなっている。
- 今後、行ってみたい活動内容として、軽いスポーツで「ウォーキング」、野外活動で「ハイキング」が多くなっている。競技的スポーツでは、「バドミントン」、「テニス」が約 1 割となっている。

図 12-1 スポーツ・レクリエーション活動の実施状況 (n=2,665)

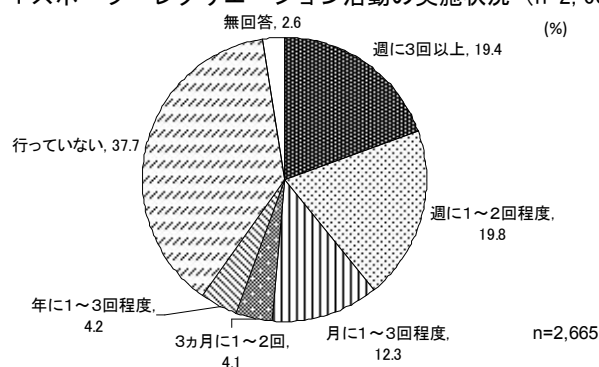


図 12-2 スポーツ・レクリエーション活動を行った理由 (上位 5 位) (n=1,549)

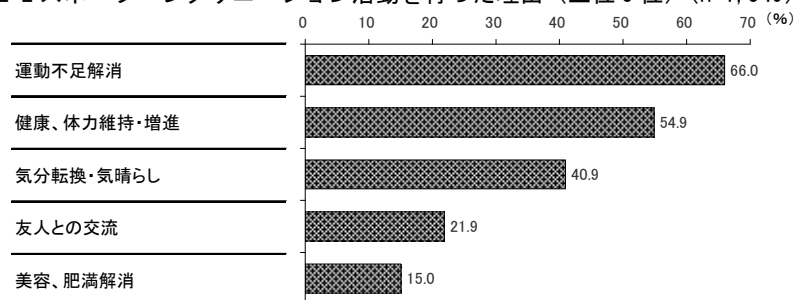


図 12-3 今後、行ってみたいスポーツ・レクリエーション活動 (比較的軽いスポーツ、上位 5 位) (n=2,669)

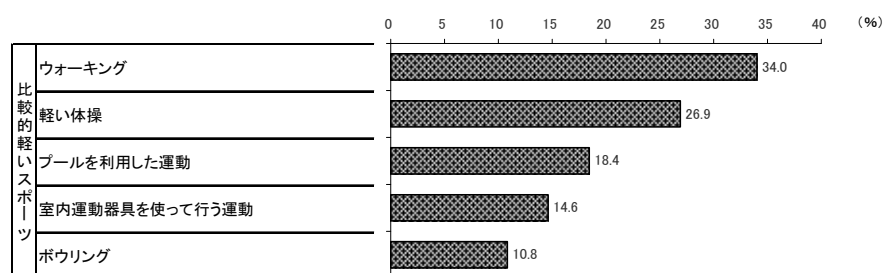


図 12-4 今後、行ってみたいスポーツ・レクリエーション活動 (野外活動、上位 5 位) (n=2,669)

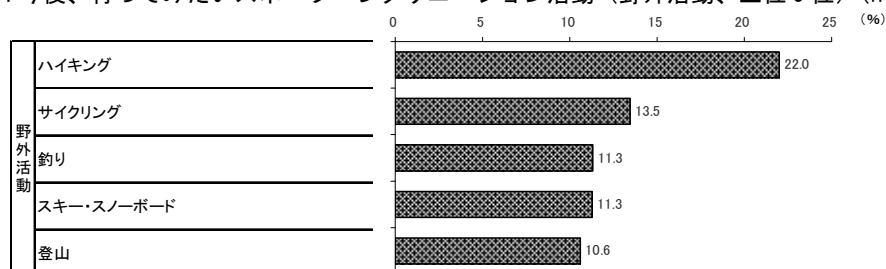
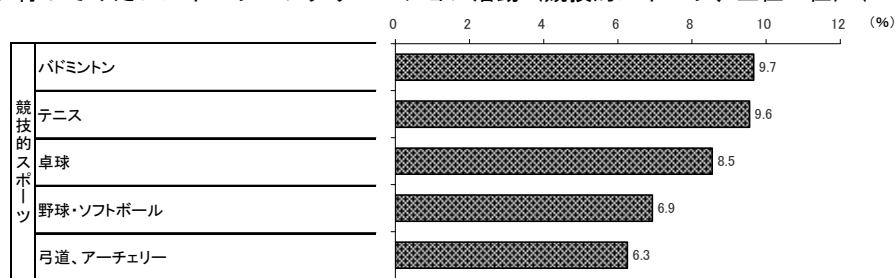


図 12-5 今後、行ってみたいスポーツ・レクリエーション活動（競技的スポーツ、上位 5 位）（n=2, 669）



1 3. 火災警報器の設置状況について

- 住宅用火災警報器の設置状況は「設置している」が約 7 割となっており、設置した場所は「台所」が 5 割強となっている。
- 住宅用火災警報器を設置していない人の理由は、「設置しようと思いつながら、そのままにしていた」が約 6 割となっている。

図 13-1 住宅用火災警報器の設置（n=2, 665）

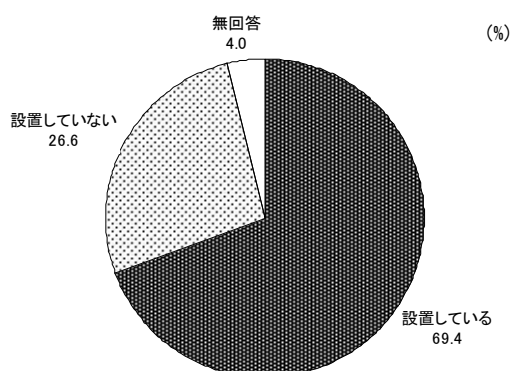
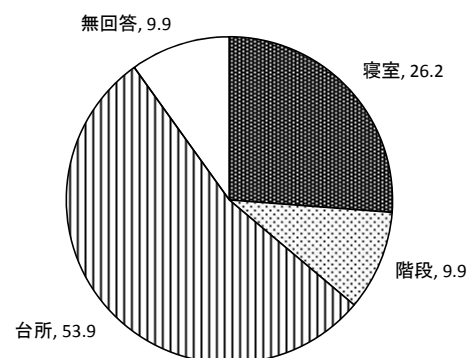
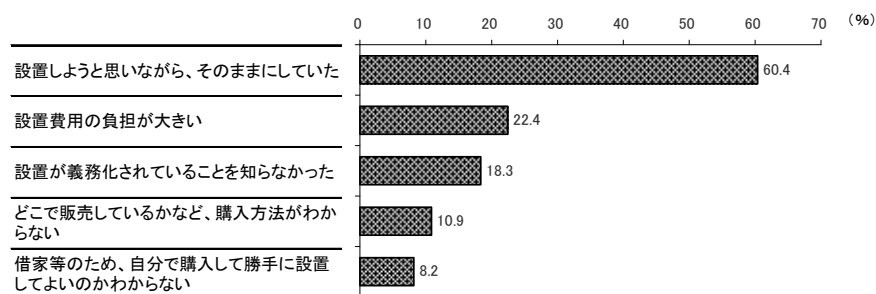


図 13-2 住宅用火災警報器の設置場所（n=1, 623）



n=1,623

図 13-3 住宅用火災警報器を設置していない理由（上位 5 位）（n=709）



14. 広報について

- 市政情報を得ている媒体は、「広報こしがや『お知らせ版』や『季刊版』」が約7割と最も多く、市政情報を得るために活用したことがある媒体としても最も多くなっている。
- 広報こしがやのAR（拡張現実）は3割半ばが「良いと思う」と回答しているが、「関心がない、わからない、必要ないと思う」も4割以上の回答となっている。
- 広報こしがや「お知らせ版」の感想は、「分かりやすい」と「おおむね分かりやすい」を合わせた『分かりやすい』が約7割となっている。

図 14-1 市政情報を得ているもの（上位 5 位）（n=2,412）

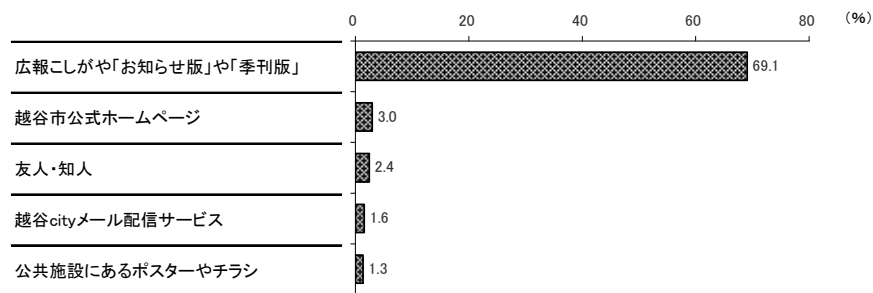


図 14-2 市政情報を得るために活用したことがあるもの（上位 5 位）（n=2,668）

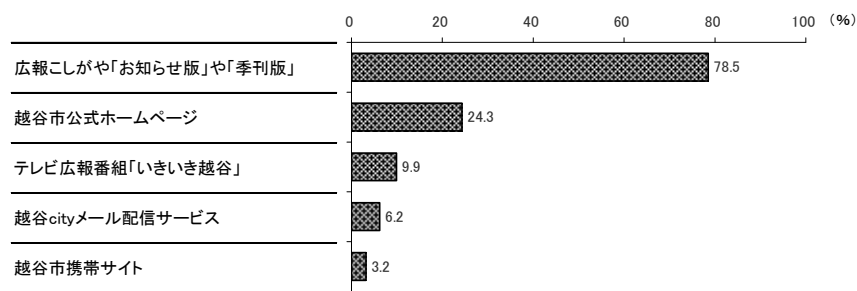


図 14-3 広報こしがやの「AR（拡張現実）」技術の感想（n=2,663）

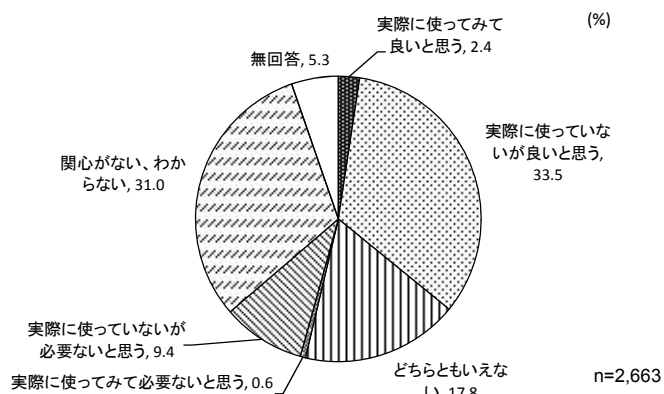
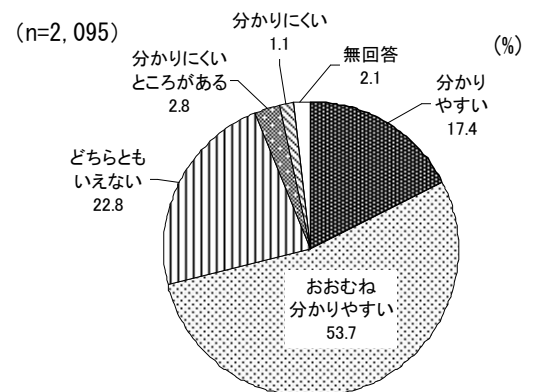


図 14-4 広報こしがや「お知らせ版」の感想（n=2,095）



15. 越谷市の施策について

- 越谷市で進めている施策について、ここ数年のうちでよくなってきたと感じるものは、「駅周辺の整備」が4割と最も多く、「ごみ・し尿の処理対策」、「バス路線等公共交通網の充実」が1割半ばで続いている。
- また、今後の市政の中で特に力を入れるべきだと思うものは、「防犯対策」が3割強と最も多く、「水害や地震などの災害対策」「高齢者福祉の充実」が続いている。

図 15-1 よくなってきたと感じるもの（上位 10 位）（n=2,669）

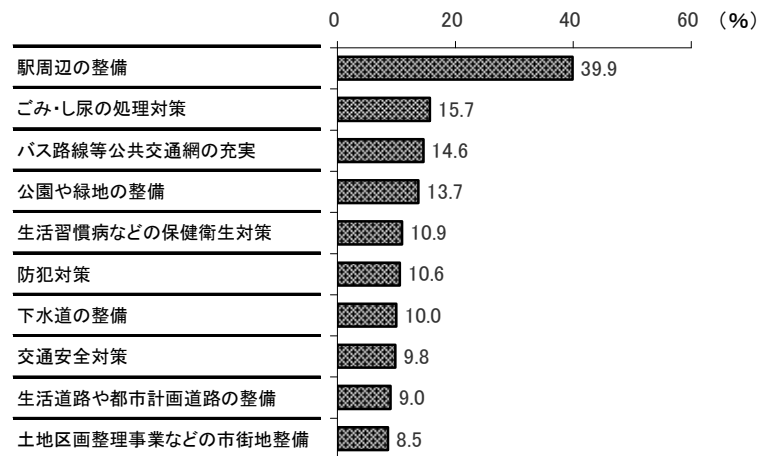
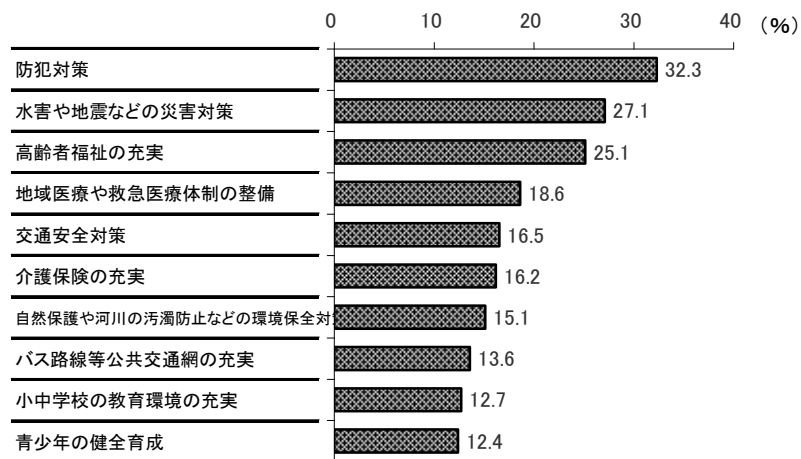


図 15-2 特に力を入れるべきもの（上位 10 位）（n=2,669）



平成 2 6 年度 市政世論調査結果報告書
(概要版)

発行年月：平成 2 6 年 1 1 月

発 行：越谷市 市長公室 広報広聴課
〒343-8501

埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目 2 番 1 号

電話 048-963-9117 (直通)